

みどりの杜 木城学園について

本校の前身である木城小学校及び木城中学校は、それぞれに創立以来営々として優れた伝統や格調高い校風を築き、特色ある学校づくりを行ってきました。また、町教育委員会においては平成23年度から小中一貫教育の推進を主要施策に位置付け、各校においては児童生徒一人一人の個性や能力を最大限に伸ばすための取組等を進めてまいりました。

このような地道な取組を基盤に、令和5年度から義務教育学校「みどりの杜 木城学園」として新たにスタートしました。両校の歴史と伝統を受け継ぎ発展させていくために、新設された施設一体型の校舎において教育目標や教育課程に一貫性をもたせた「木城ならではの教育」を学校と家庭と地域が一体となって推進してまいります。

特色ある教育活動

キータ임

ふるさと教育・キャリア教育

学園生が地域や社会に関心をもち「ふるさと木城」への誇りと愛着を高め、地域に主体的に関わろうとする態度を育成するとともに、9年間を通して自分の生き方や進路を考え将来を切り拓いていく能力の育成に地域と共に取り組みます。



外国語教育

外国語活動と英語科とのスムーズな接続に留意しながら、英語によるコミュニケーション能力を高めるとともに、自国の文化理解と外国語や外国の文化に対する理解と尊重する態度の育成に取り組みます。



ICT教育

充実したICT環境を活用した学習指導の充実を図るとともに、学園生が情報や情報手段を主体的に選択し活用していくための基礎的な資質（情報活用能力）の育成やプログラミング教育の円滑な導入に取り組みます。



本校ならではの取組(温かい関わりと見守り・見届け)

異学年交流等

学校行事や教科・総合的な学習の時間や清掃活動等において、異学年交流を計画的に実施するとともに、作品の掲示等についても、異学年交流を積極的に進めることで、豊かな人間性やコミュニケーション能力を育成します。



教科担任制 学年副担任配置

5年生から教科担任制（1～4年生は専科制の導入）を導入し、専門性を生かした授業による学力向上と、細かな児童生徒理解による生徒指導の充実を図ります。
また、各学年に副担任を配置するとともに学年での指導体制を充実させ、学園生へのきめ細かな対応を図ります。



保育園・幼稚園 との連携

町内の保育園、幼稚園職員に、本学園入学後の学園生の様子の参観や情報交換を通じた連携を図り、長期的な視点に立った教育の充実を図ります。また、架け橋期（義務教育開始前後の5歳児から小学校1年生の2年間）にふさわしい、一人一人の多様性に配慮した学びや生活の基盤を育むことを目指します。

前期・後期課程 統一45分授業

学力向上等の学校の教育的課題解決や学園生が自ら学び、自ら活動できる環境づくりを実現するために、後期課程も45分授業とし、5分間を集めた時間「グリーンタイム（自ら学び考え、挑戦する時間）」を設定しています。（各教科等の標準授業時数は確保）また、この取組を通して、学びの充実はもちろん、部活動の帰宅時間が早まったり、余暇の時間の充実が期待されます。



学力向上の取組

木城スタンダード

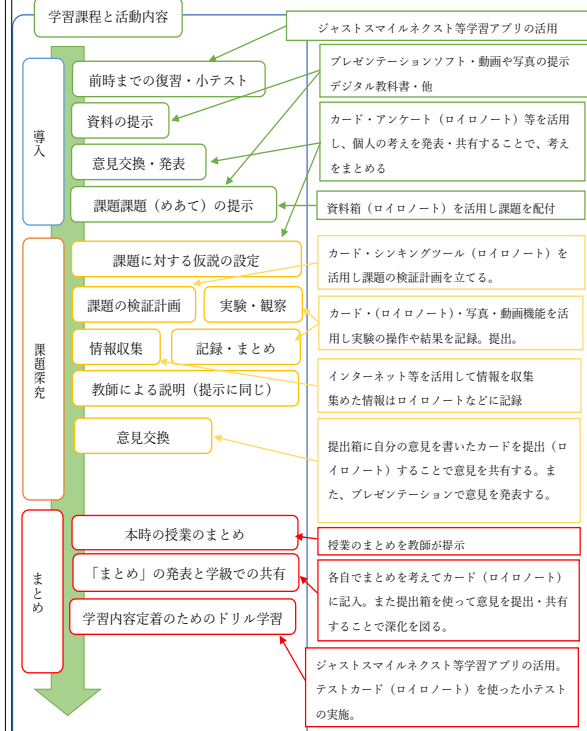
～ 授業づくり・すすめ方のポイント ～

全ての先生方が全ての授業で共同実践することで、みどりの木城学園の児童生徒を誰一人取り残さず、大切に育てていくための指針とします。

授業前	<ol style="list-style-type: none"> ① 単元における本時の位置付けや身に付けさせたい資質・能力の明確化 ② 本時の評価基準と評価方法の明確化 ③ 指導する児童生徒の実態（既習事項や定着度／レディネス）の把握 ④ 学習規律（正しい姿勢・話し方・聞き方等）の育成（※学びのやくそく） ⑤ 板書計画やICT（モニターやタブレット等）機器の活用計画（※ICT活用場面がない授業もある。）
導入	<ul style="list-style-type: none"> ● 教師も1分前までに入室し、児童生徒とコミュニケーションをとったり授業の準備をしりする。 ● 児童生徒一人一人に、「なぜ？どうして？」と問いをもたせたり、思いや願いを生かしたりするような事象提示をする。 ● 「本時は何を学習するか、何がわかる、できるようになればよい」か明確な「めあて」が設定される。（※全ての授業で「め」カードの使用）
展開	<ul style="list-style-type: none"> ● 解決への見通しをもたせる。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 答え（結果）の見通し ・ 方法の見通し ● 個での思考（解決）場面がある。（※机間指導・個に応じた指導） ● 集団での思考（解決）場面がある。児童生徒同士で交流し、考えを共有したり比較したりする時間（場）がある。（ペア、グループ（3～4人）、リトルティーチャー等）
終末	<ul style="list-style-type: none"> ● 習熟を深めるための問題に取り組ませる。（問題集等の活用） ● 身に付けさせたい資質・能力に基づいた「まとめ」をする。（※「ま」カードの使用／本時の学習内容や活動を基に自分の言葉でまとめさせる。※発達段階に応じて） ● 授業の振り返りさせる。（何が分かったか、できるようになったか。新たな課題は生まれたか。）
全体	<ul style="list-style-type: none"> ● 挙手等による発表（表現）の機会（場面）を設ける。 ● 教師の指示や発問、説明を精選する。（※しやべり過ぎない。）

ICTを活用した授業のパターンモデル

授業の中でICTを活用できるパターンを整理



学力向上の可能性

学園生の学力は高まっています！

その理由は・・

- 学びを支える環境が整っている
ゆとりある学習環境、余裕のある空間、知識に触れる環境
- 学び合い支え合う仲間がいる
懂れる、懂れられる関係性、優しさが育つ環境

心理的安全性

学びに向かう力

※ 安心して学園で学ぶことができる。
心理的安全性があれば、自己決定ができ、自己肯定感が育つと言われています。

学園生の大好きな図書館には、1年生から9年生に対応した多くの本が置かれています。低学年の学園生も、知的好奇心から高学年の本が借りられます。

このように木城学園は、学園生が背伸びしたいと思える学園であり、背伸びができる学園です。



児童生徒数

	1組	2組	特別支援 学級	計
1学年	19	19	1	39
2学年	21	21	0	42
3学年	24	24	1	49
4学年	30	29	5	64
5学年	23	22	5	50
6学年	27	26	3	56
			前期課程計	300
7学年	28	29	3	60
8学年	25	24	0	49
9学年	24	25	0	49
			後期課程計	158
			総計	458

※特別支援学級内訳
 少人数3組(3年:知的 4名)
 少人数4組(1~4年:情緒 4名)
 少人数5組(5~6年:情緒 7名)
 少人数6組(7~9年:知的 1名)
 少人数7組(7~9年:情緒 2名)

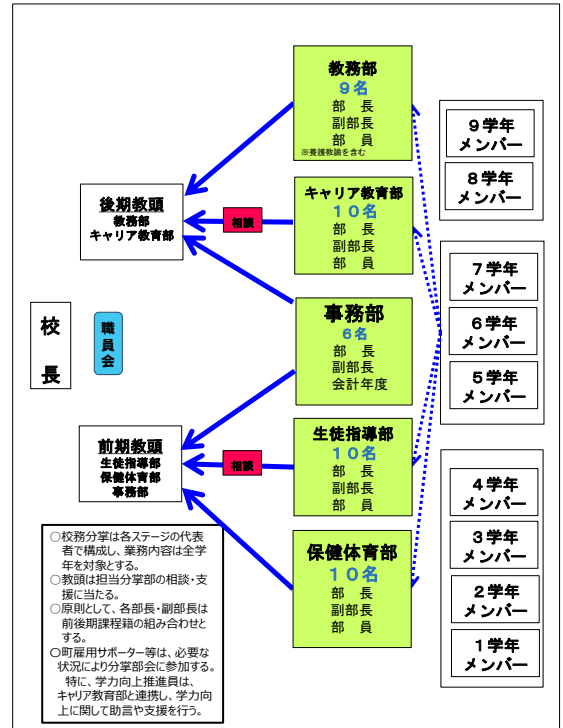
校時程

みどりの杜木城学園 基本校時程

	月・木・金	水	火
登校	8:00 着席完了		
健康観察 朝の会	8:00~8:10		
1校時	8:20~9:05		
2校時	9:15~10:00		
3校時	10:10~10:55		
4校時	11:05~11:50		
給食	11:50~12:35		
昼休み	12:35~13:20		
清掃 (木以外)	13:20~13:30 ※水はフッ化物洗口		
5校時	13:35~14:20		
6校時	14:30~15:15		14:30~15:15
グリーン タイム		14:25~15:10	15:20~16:05
帰りの会	15:20~15:30	15:15~15:25	16:10~16:20
その他	終礼(金) 15:45~15:55	会議(終礼込み) 15:45~16:25	
退庁	16:30		
部活動	15:30~16:30 (延長17:20)		16:25~16:30 (延長17:20)
			水:リフレッシュデー

※清掃は縦割り清掃で実施
 ※放課後、大会館室を学びの場として16時25分まで開放

校務分掌組織



主な年間行事予定

学期	月	行事
1	4	始業式・入学式・二者面談・参観日 PTA総会・避難訓練・交通安全教室
	5	学校運営協議会・運動会
	6	中学校総合体育大会・参観日・学園生総会・定期テスト 職場体験学習
	7	学校支援訪問・薬物乱用防止教室・非行防止教室・お話し 終業式・三者面談
2	8	始業式
	9	参観日・中学校秋季体育大会
	10	前期通知表配布・修学旅行(6年) 合唱コンクール・宿泊学習(5年)
	11	音楽大会・参観日(生涯学習のつどい大会) 定期テスト・お話し
	12	修学旅行(8年)・持久走ロードレース大会 鑑賞教室・終業式
3	1	始業式・避難訓練・給食感謝集会
	2	定期テスト・参観日・学校運営協議会・お話し 立志のつどい
	3	送別行事・卒業式・修了式・後期通知表配布